

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 田村・大川・矢古宇・本上・丸尾・入江・西・仲島・桐原・松本

2. 山城/ルート 裏六甲 百丈岩

3. 交通手段 各自/電車・バス・自家用車

4. 行動記録

<実施日 2018年06月24日>

9時00分 JR 道場駅 集合後 百丈岩駐車場まで車で移動

15時40分 下山 反省会

16時00分 終了

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

・できた。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

・O氏から報告あり

「リードで登攀中、ラックに着けていた確保器を落とした。その後、セカンドの引き下げはムンターヒッチで行った。」

原因…1. グリベルの新型カラビナの使い方に慣れていなかった。2. 注意不足。

対応策…初出の用具の場合予め使用方法を十分に把握して臨む。

今後の検討事項…後続がもし2人だったら、どんな対応になるのか。1人ずつ引き上げるしかないのかなと思う。良い方法あれば教えて下さい。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

① 確保器を誤って落下又は紛失した場合の対応について（本日のヒヤリハット）

全員で対応策について意見を出し合い、ムンターヒッチの方法をロープ1本、2本の場合なども実践的に検証し共有できた。

② 懸垂下降点の設置箇所によってはロープが岩に緩衝し下降後ロープをスムーズに回収出来ない所があった。用具を残置することになりかねないので次回は記憶しておいて使用しない方が良いという意見で一致した。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・マルチピッチの練習を重ね、システム作りに熟練し、実践に通用するようにしたい。

・同じルートを2組が続けて登攀する場合。別々にカラビナを2個ハンガーに掛けることで時に外し難く時間が余分に掛ってしまうので、カラビナを共有（ロープを2本掛ける）した方が良い場合もある。

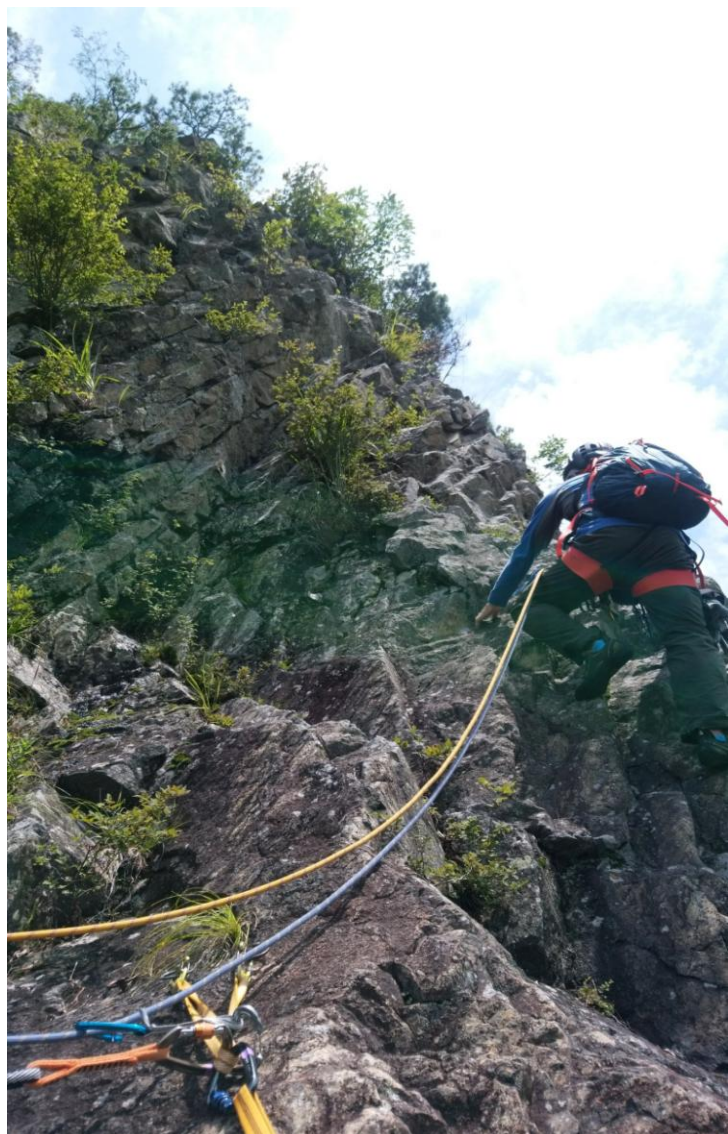
・決めていた集合時間に遅れてしまい、時間通りに下山していた他のメンバーをお待たせしてしまい申し訳ありませんでした。



懸垂下降のお手本



青空へまっしぐら



颯爽と

報告者氏名 田村

2018年6月25日

(表紙の写真に)



晴天の中のろうそく岩